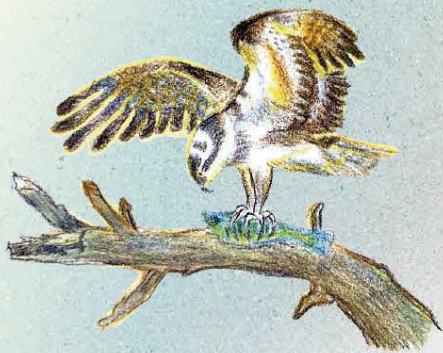




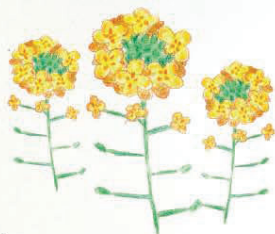
わたしたちは、
東日本大震災と原発事故の経験から、
防災・減災の啓発と、
社会の裏側で誰も犠牲にしない暮らしを
考える機会を提供しています。



フィールドワークでは、
熊町小学校をはじめとする
中間貯蔵施設区域にある遺構をめぐり、
町の記憶をたどります。



「遺構」を考えるとき、
地域の文化や自然、暮らしを
フィールドでまるごと保存することが
将来の地域づくりにも役立つと考えています。



未来のための大切な遺産として
次世代につなぐためには
どうすればいいのか
ともに考えていただきたいと思います。



大熊未来塾
Webサイトは
こちら



熊町小学校と、町の文化と歴史をたどる さまざまな遺構

海渡神社

お彼岸には日隠山に陽が沈む



山神神社

地震で倒壊するも住民の想いで再建



稲荷神社と燃えた御神木

震災前、毎年恒例の冬の野焼きで燃えた御神木



遍照寺

ご住職の意向で存知保存



熊町幼稚園

樹齢132年におよぶ「おじさんもみじ」



熊町小学校 校庭

震災前からの名物はしご(運てい)を飲み込んだプラタナス



熊町小学校 1階教室

教室には震災当時の面影が残る



なん松とミサゴ

津波から生き残った一本松の上で
2020年からミサゴが繁殖



津波の被害や命の尊さを学ぶ 遺構の数々



東京電力福島第一原子力発電所

福島県ヒラメ栽培漁業センター

写真：海老沼明

キウイフルーツ

手入れができない状況でも旺盛な生命力



福島県ヒラメ栽培漁業センター

命と防災を学ぶ慰霊の場



小入野橋

津波で倒壊するも小入野側北岸で保存



熊川区公民館と諏訪神社

津波に襲われたが奇跡的に犠牲者が出なかった
避難所。まさに鎮守の森。



溺死精霊の墓碑

江戸時代末期の名もなき5人の船乗り



馬の背岬と旧防潮堤

熊川海水浴場の象徴である馬の背岬と
地震で倒壊した旧防潮堤

